

# 令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【三橋中学校】

## 学力向上 アクションマップ

①	<b>今年度の目標と学力向上策</b>
重点的に育成する 資質・能力	<p>&lt;学習上の課題&gt;各種調査で生徒の学習時間に関する質問項目は、低い傾向がある。基礎的・基本的な知識・技能の定着に向け、繰り返し取り組むことが課題となっている。また、思考力・判断力・表現力を伸ばす前提となる、基礎的な事項の定着に課題があると考えられる。</p> <p>&lt;指導上の課題&gt;学力の定着状況に差があることから、個に応じた指導の必要性が高い。そして、生徒が自己表現する活動を設定すると共に、その過程の評価・指導改善を図る必要がある。</p>
実施する学力向上策 【時期・頻度】	<p>小テストの実施・事前活動での朝学習・家庭学習の課題設定など、基礎的・基本的な内容について繰り返し取り組む。【通年】授業改善に向けては、一昨年度より学校研究として行っている「個別最適な学び」を、さらに推進していく。各教科で公開授業を行い、教職員が参観し合う研修を行う。【1・2学期】各教科で、見方・考え方を働かせ、基礎的・基本的な知識・技能の定着を確かにした上で、主体的・対話的で深い学びができるよう授業改善を図っていく。学校研究を進め、成果を教職員で共有しながら、指導改善に努める。【通年】家庭と連携をとりながら学習習慣を確立し、基礎的・基本的な内容を定着を図る。【通年】</p>

⑤	<b>年度末評価</b>
学力向上策の 実施状況	<p>評価(※)</p> <p>②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等</p>
今年度の成果と 次年度の課題	<p>さいたま市学習状況調査(学力) &lt;小3-中3&gt;(1月)</p>

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	<b>全国学力・学習状況調査結果の分析</b>
特徴的な結果	<p>調査の振り返り(4月) ①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告</p>
結果から考えられる 児童生徒の実態	<p>学力向上策の実施 ①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト 等の分析・活用 ③調査問題を活用した授業</p>

④	<b>さいたま市学習状況調査結果の分析</b>
特徴的な結果	<p>学力向上策の充実 ①学校全体での取組 ②単元テスト・定期テスト 等の分析・活用 ③中間評価を経ての取組 ④調査結果を活用した授業</p>
結果から考えられる 児童生徒の実態	

③	<b>中間評価</b>
学力向上策の 実施状況	<p>評価(※)</p>
学力向上策の 見直し	<p>中間評価(9月) 課題・策の見直し</p>

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)